

# Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/8/7(月)

## 士師記2章

ヨシュアの死後の民の様子は…

- ・主を知らず、主がイスラエルのために行われたわざも知らない別の世代が現れた(10)
- ・周りにいるもろもろの神に従い、それらを拝んだ(12)
- ・主が起こされたさばきつかさにも従わず、他の神々に従って淫行を行った(17)。先祖たちより一層墮落した(19)。

どうやら、当時のイスラエルでは親から子へ信仰が受け継がれなかったようだ。親から聞く信仰は大切。でも、親がクリスチャンであってもなくても、神様に従うかどうかは君の「選択」である。

★神様に従うことの祝福はなんだろう？

★（自分が初めて家族の中でキリストを信じた君へ）神様を知らなかった時代に犯した罪も、そのままにせず悔い改めることを神様は喜ばれる。生涯のあらゆることを悔い改め、変革に用いられるよう祈ろう！

2023/8/8(火)

## 士師記3章

日常の中で神様を忘れて周りに流されていないだろうか？信仰の戦いはそのような時かもしれません。

約束の地カナンには残された先住民が大勢いました。イスラエルの新しい世代はこの神様からのチャレンジを神様に聞いて戦うのではなく先住民の強さに憧れて交わり、流されて彼らの神々に仕えるようになってしまいました。神様はイスラエル人を愛するがゆえに神様に立ち返るため敵を送って懲らしめ、また獅子達を通して救いの道も与え民を扱いました。

日々神様に今日何をすべきですか？と聞こう！神様に聞いて従うことで戦いに勝利しよう！

2023/8/9(水)

## 士師記4章

12人の士師（さばきつかさ）の4番目に登場するのは、デボラという女性である。彼女は預言者として民の相談事を裁いていた。エフデの死後、イスラエルは悪を行うようになり、主は彼らをハツオルの王ヤビンの手に渡された。ヤビンは大きな武力をもっており、20年間イスラエルを圧迫していた。このような状況の中で、デボラが立てられた。

デボラは神の命令により、バラクをシセラと戦う軍の将に立てていたが、彼はなかなか出陣しなかったようである。それでデボラはバラクを呼び寄せ主の命令を告げた。そしてバラクは出陣し、シセラの軍は敗れ、シセラは異邦人の女性ヤエルによって殺された。

私たちも神の計画に喜んで支えることができるよう、祈ろう！

2023/8/10(木)

## 士師記5章

今日の箇所では詩文による賛美の形式でイスラエルがシセラの大軍を打ち破り、勝利した様子が語られている。(9-18v)諸部族が召集された様子を語っている。ここで大切なのは、精鋭が集められたのではなく、神に忠誠を尽くす主の民が集められたということである。(19-22v)その結果としての勝利を語る。イスラエルは精鋭部隊も最新装備もなかったがこの戦いに勝利した。

主の招きに応える姿勢があるだろうか？  
主の声に耳をかたむけているだろうか？  
神様が用意されている勝利を選び取る選択をしよう！！

2023/8/11(金)

## 士師記6:1-18

今日からギデオンのストーリーに入っていくよ。

●イスラエルはどんな困難に直面することになった？1,6v

●主の使いがギデオンの所に来た時、何と言ったかな(12v)？ギデオンはそれを受け取れなかった。それはなぜかな？15v

●きみが困難に直面する時、1番に心配になることは何だろう。それを手放せるように祈ってみてはどうか？

2023/8/12(土)

## 士師記6:19-40

ギデオンの求めに応じて神様はしるしを彼に見せていたね。だけどそれを実際に見たギデオンは自分が願ったのに、神様と会って死んでしまうと恐れている。だけど神様はそんなギデオンの弱さにも寄り添い、励まし、何度もしるしを見せて彼に確信を与え続けたんだ。そしてギデオンも周りの人を恐れながらだったけど神様からの使命を実行した。

神様は私たちにもしなさいと言ってくださっていることが必ずあるよ。今日それは何か祈って聞いてみよう！そしてそれを実際に行動にうつすクリスチャンになっよう！

2023/8/13(日)

## 士師記7章

ミディアン軍13万5千人(8:10)に対するギデオンの兵力は3万2千人だった(7:3)。しかし神様の指示により兵を減らし、最終的に300人だけが残った。ギデオンが敵の陣営を偵察すると、圧倒的に有利なはずのミディアン軍が、一人の兵が見た夢によってギデオンを恐れていたのである。ギデオンは神様のことが確かであることを確信し、神様を礼拝した。角笛とたいまつと壺のみを渡された兵たちにも、恐れがあっただろう。しかし、確信に満ちて戻ったギデオンに励まされ、これら奇妙な武器を手にとり、彼に従った。いよいよ配置に着いて作戦を実行した時、兵たちは「主のため、ギデオンのための剣」と叫んだ(20)。兵たちがギデオンとともに心の中で振り上げた剣とは、人の心の恐れと不信仰を切り捨てる、神様の勝利の剣であった。

祈り：神様、私の心にも、不従順を切り倒すギデオンの剣をお与えください。